

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 16 年 9 月 16 日 (2004.9.16)

【公開番号】特開 2001-112053 (P2001-112053A)
 【公開日】平成 13 年 4 月 20 日 (2001.4.20)
 【出願番号】特願 2000-179302 (P2000-179302)
 【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 Q 7/34

H 0 4 B 17/00

H 0 4 L 12/28

【F I】

H 0 4 Q 7/04 B

H 0 4 B 17/00 B

H 0 4 L 11/00 3 1 0 B

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 9 月 1 日 (2003.9.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

通信システムのキャパシティの減少を検出する方法において、
 所定のインターバルの間に前記システムのプロセスによりブロックされた呼の数を決定するステップと、
 前記所定のインターバルの間に呼が前記プロセスによりブロックされているときに、呼を運ぶチャネルエレメントの最小の数を決定するステップと、
 ブロックされている呼の数を第 1 のしきい値と比較するステップと、
 呼がブロックされているときに、呼を運ぶチャネルエレメントの前記最小の数を第 2 のしきい値と比較するステップと、
 ブロックされている呼の数が第 1 のしきい値を超え、かつ呼がブロックされているときに呼を運ぶチャネルエレメントの前記最小の数が前記第 2 のしきい値よりも小さい場合、前記システムが減少したキャパシティで動作していることの指示を提供するステップとを有する方法。

【請求項 2】

前記システムの前記プロセスが、電力制御プロセスである請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

呼がブロックされているときに呼を運ぶチャネルエレメントの最小の数を第 2 のしきい値と比較する前記ステップが、
 前記第 2 のしきい値とチャネルエレメントの前記最小の数との差をとるステップと、
 前記差を第 3 のしきい値と比較するステップとを含む請求項 1 記載の方法。

【請求項 4】

システムが減少したキャパシティで動作していることの指示を提供する前記ステップが、可聴的アラームを作動するステップを含む請求項 1 記載の方法。

【請求項 5】

システムが減少したキャパシティで動作していることの指示を提供する前記ステップが、可視的インジケータを作動するステップを含む請求項 1 記載の方法。

【請求項 6】

システムが減少したキャパシティでシステムが動作していることの指示を提供する前記ステップが、情報をユーザに対して表示するステップを含む請求項 1 記載の方法。

【請求項 7】

システムが減少したキャパシティで動作していることの指示を提供する前記ステップが、レポートを印刷するステップを含む請求項 1 記載の方法。

【請求項 8】

前記システムが減少したキャパシティで動作している場合に、コンピュータによる読み出しが可能な媒体に第 1 のインジケータを記憶するステップをさらに含む請求項 1 記載の方法。

【請求項 9】

プログラムされたプロセッサを含むワイヤレス通信装置であって、前記プログラムされたプロセッサが、所定のインターバルの間に通信システムのプロセスによりブロックされた呼の数を決定し、前記所定のインターバルの間に前記プロセスにより呼がブロックされているときに呼びを運ぶチャネルエレメントの最小の数を決定し、ブロックされている呼の前記数を第 1 のしきい値と比較し、呼がブロックされているときに呼を運ぶチャネルエレメントの前記最小の数を第 2 のしきい値と比較し、ブロックされている呼の前記数が前記第 1 のしきい値を超え、かつ呼がブロックされているときに呼びを運ぶチャネルエレメントの前記最小の数が前記第 2 のしきい値よりも小さい場合に、システムが減少したキャパシティで動作していることの指示を提供するためのプログラムされたプロセッサであるワイヤレス通信装置。

【請求項 10】

前記システムの前記プロセスが電力制御プロセスである請求項 9 記載の装置。